

HIV スクリーニング検査偽陽性検体と陽性検体を用いた Geenius HIV 1/2 キットの検討

◎谷口 裕美¹⁾、岡本 愛¹⁾、村上 晶子¹⁾、森本 麻里¹⁾、川野 由季¹⁾、西村 真智子¹⁾、近藤 瑠璃¹⁾、高須賀 康宣¹⁾
愛媛大学医学部附属病院 検査部¹⁾

【はじめに】2020年6月に、日本エイズ学会・日本臨床検査医学会標準推奨法として「診療における HIV-1/2 感染症の診断ガイドライン 2020 版」が公表され、抗体確認試験には WB 法に代わり「新規の HIV-1/2 抗体確認検査法」を用いる手順に変更となった。今回、我々は新規の HIV-1/2 抗体確認検査法である Geenius HIV 1/2 キットについて検討したので報告する。

【対象・方法】対象は、当院にて 2011 年 8 月～2021 年 3 月に実施した HIV スクリーニング検査のうち、偽陽性判定した 20 検体と、HIV-1 陽性検体 20 検体を用いた。スクリーニング試薬はアーキテクト HIV Ag/Ab コンボアッセイ (CLIA 法：アボットジャパン)，抗体確認試験はラブプロット 1, 2 (WB 法：バイオ・ラッド，以下 WB-1, WB-2)，Geenius HIV 1/2 キット (IC 法：バイオ・ラッド，以下 Geenius) を用い、目視判定した。

【結果】(1) スクリーニング試薬の測定値；偽陽性検体は、1.03～164.68 S/CO，陽性検体は 22.84～1282.26 S/CO であった。(2) WB 法と Geenius の判定；①偽陽性検体：WB 法

(-)・Geenius(-) 4 検体，WB 法(保留)・Geenius(-) 13 検体，WB 法 (保留)・Geenius(保留) 3 検体。②陽性検体：WB-1(+)/2(+)-Geenius-1(+)/2(-) 4 検体，WB-1(+)/2(保留)・Geenius-1(+)/2(-) 14 検体，WB-1(保留)/2(保留)・Geenius-1(+)/2(-) 1 検体，WB-1(+)/2(+)-Geenius-1(+)/2(保留) 1 検体。

(3) 交差反応：陽性 20 検体のうち HIV-2 との交差反応は WB 法で全検体，Geenius では 1 検体であった。

【まとめ】

Geenius HIV 1/2 キットは操作および判定が簡便であるとともに、従来の WB 法が検査に約 4 時間要するのに対して 30 分で判定でき、確認試験が迅速に実施可能となる。Geenius ではスクリーニング検査偽陽性検体の排除目的に使用することはできないが、WB 法より偽陽性を低減できたことより特異度が高いと考えられる。また、WB 法では HIV-2 との交差反応例が多く、追加の鑑別試験が必要となり、判定に苦慮する問題点があったが、Geenius を用いることは鑑別試験としても有用であった。

連絡先：089-960-5598